

目黒区立学校授業スペシャリストお薦め家庭学習例

中学校社会科

「歴史上でのインフレとデフレ（歴史分野と公民分野をつなげよう）」第3学年

家庭学習用社会科ワークシート NO, 1 3年()組()番()

*保護者の方にも協力していただいて予習してみましょう。

1 インフレーションと聞いて、知っていることやわかることを書き出してみましょう。

(まずは自分で考えてから、公民教科書P. 144を参照)

自分の考え	保護者の考え(もし聞けたら聞いてみましょう。)
-------	-------------------------

友人の考え(授業再開後)

2 デフレーションと聞いて、知っていることやわかることを書き出してみましょう。

(まずは自分で考えてから、公民教科書P. 144を参照)

自分の考え	保護者の考え(もし聞けたら聞いてみましょう。)
-------	-------------------------

友人の考え(授業再開後)

3 第一次世界大戦後の復興によるアメリカの繁栄に見られる、好景気から「世界恐慌」に至る過程で、不景気になるきっかけはどのようなことだと考えますか。

(歴史教科書P. 202~203、P. 212、公民教科書P. 144を参照、その他資料集などを参照)

--

4 アメリカ合衆国の「ニューディール政策」とは、どのような政策ですか。内容や効果などを挙げてみましょう。

(歴史教科書P. 212~213を参照、その他資料集などを参照)

--

目黒区立学校授業スペシャリストお薦め家庭学習例

中学校社会科

「歴史上でのインフレとデフレ（歴史分野と公民分野をつなげよう）」第3学年

家庭学習用社会科ワークシート NO, 2 3年()組()番()

5 今回の新型コロナウイルス問題でも見えてきたように、私たちの社会における「市場経済」という仕組みは、一つの製品が各地でそれぞれが生産した様々な部品が集まって完成し、更にそれを運搬するという仕事もあって成立しています。いわば「分業と交換」によって成り立っていると言えることから、「ニューディール政策」が景気対策として有効だった理由を考えてみましょう。

(まずは自分で考えてから、公民教科書P. 136~137、P. 148~149を参照)

自分の考え	保護者の考え（もし聞けたら聞いてみましょう。）
友人の考え（授業再開後）	

6 日本銀行の金融政策と政府の財政政策を確認しましょう。

(公民教科書P. 144~145、P. 148~149を参照、その他資料集などを参照)

【ノート】

◇景気とは→経済全体の動き

- 好景気（好況）= 商品が売れる → 企業の生産増加 → 家計の所得が増加 → 商品が売れる → …
- 不景気（不況）= 商品が売れない → 企業の生産減少 → 家計の所得が減少 → 商品が売れない…
- 好景気と不景気が交互に繰り返される = 「景気変動」

◇景気変動のメカニズム

- 好景気（好況）= 商品が売れる（消費の拡大） → 商品の需要増加
 - 企業の生産増加 → 家計の所得が増加 → さらに商品の需要増加
 - どこかの時点で商品の供給量が需要量に追いつかず、商品の需要量が供給量を上回る → 物価が上がり続ける「インフレーション」の発生
 - しかし、どこかの時点で商品を生産しすぎて供給過剰
 - 商品が売れない（消費の減少） → 商品の需要減少 → 企業の生産減少
 - 家計の所得が減少 → 景気の後退が始まる
- *不景気（不況）はこの逆のプロセス

◇景気対策のメカニズム

	不景気（不況）の時	好景気（好況）の時
日本銀行の金融政策	国債などを銀行から買い、銀行から企業への資金の貸し出しを増やそうとする（買いオペレーション）	国債などを銀行へ売り、銀行から企業への資金の貸し出しを減らそうとする（売りオペレーション）
政府の財政政策	・公共投資を増やして企業の仕事を増やす。 ・減税して企業や家計の消費を増やそうとする。	・公共投資を減らして企業の仕事を減らす。 ・増税して企業や家計の消費を減らそうとする。

7 不景気の時と、好景気の時、日本銀行はどのような金融政策を行うのか、政府はどのような財政政策を行うのか、家族に説明するチャレンジをしてみよう。

(自分で【ノート】の部分と教科書を読み、ある程度理解できたら保護者に説明しよう)

本人の評価 A B C D コメント	保護者からの評価 A B C D 保護者からのコメント
-----------------------	--------------------------------

8 分かったことや気付いたこと、疑問に思ったことをまとめておきましょう。